

2012年アカデミーヒルズ活動を振り返る

アカデミーヒルズ 2012 6大トピックスをご紹介します！

アカデミーヒルズは組織や会社を離れた“自律的に自立する個人の支援”をミッションに「スクール」「ライブラリー」「フォーラム」の3つの機能があり、今年も様々な活動を行いました。

スクール

六本木アートカレッジ

～4月から年間を通じた「セミナーシリーズ」もスタート

10月開催の「1day イベント」はビジネスパーソン中心に1000名参加～

昨年11月に開催し大変好評を博したアートカレッジを、今年は「セミナーシリーズ」と「1day イベント」の2本立てにして開催しました。

「セミナーシリーズ」は姜尚中氏と竹中平蔵氏による「感動する力」を皮切りに、池上彰氏、坂本龍一氏、岩井俊二氏などを迎え開催。他にも、アートを楽しむセミナーを、雑誌 Discover Japan や NPO 法人 AIT/エイト、古田秘馬氏等と連携し実施。年間で約20講座を開催します。

10月8日開催の「1day イベント」（参加費3000円）は全23講座を好きなように受講できる構成で実施し1000名を超える方が参加。ファッションジャーナリスト生駒芳子氏をクロストークのモデレータに迎え、大宮エリー氏、篠山紀信氏、松井冬子氏、横尾忠則氏他幅広い分野のオピニオンリーダー40名以上が登壇。新企画として、アカデミーヒルズを飛び出し六本木の街を舞台に「ナイトパーティ」や「ナイトギャラリー」も開催。終日アートをテーマに盛り上がりました。

※当イベントは2013年1月以降も引き続き開催。P.4で詳細参照。



石倉洋子のグローバルアジェンダゼミナール開講

～全編英語の3ヶ月プログラムで世界に通用する「対話力」学ぶ～

今年1月から、グローバル人材を目指すビジネスパーソンを対象とした3ヶ月の短期プログラムとして3期連続で実施。延べ60名の方が学びました。ダボス会議でもファシリテーターを務める石倉洋子氏の下、課題提出と実践を通じてグローバルに通用する対話力を身につけ、社内外でのステップアップを目指す方のほか、世界が直面する問題解決のための1歩を踏み出す方も数多く排出しています。次回2013年6月開講予定です。



日本元気塾第3期開講（2012年5月～12月）

～現状に飽き足りない「志」持つ社会人が学ぶ場

パラレルキャリアを持ち社会貢献する卒塾生も多数誕生～

今年5月に開講した「日本元気塾」は「そもそも人間一人ひとりが元気であれば、国が元気なわけがない」との米倉誠一郎塾長の想いに共感する、高島郁夫氏、藤巻幸大氏、奥山清行氏が講師となり「人間が人間に熱い想いを伝える」日本古来の「塾」形式で開講。現在約100名のビジネスパーソンが卒塾に向けて最後の課題を制作中です。卒塾式は2013年1月18日（金）に開催。ご興味をお持ちの方は是非お声掛けください。

※卒塾生から日本ユースリーダー協会第4回ユースリーダー賞受賞者誕生。P.4で詳細参照。



ライブラリー

六本木：会員向けイベントがリニューアル ～「シェア」をキーワードに進化～

六本木ライブラリーではメンバーを対象にした「六本木ライブラリーLIVE」を4月より開始。従来のスピーカーの話聞く形のイベントから進化し、全員がフラットな関係で議論やワークショップをする場にリニューアルしました。キーワードは「交流」「シェアする気持ち」です。初回はTED×TOKYOの創始者をゲストに招き、自由な発想で「21世紀のライブラリー」について考えるワークショップを開催しました。ライブラリーLIVEは12月までに34回開催。今後も月に4回程度開催予定です。



平河町：年代別ビジネスマン向けイベント初開催 ～初回は50代を対象に実施～

平河町ライブラリーでは初のオープンイベントを開催。50代ビジネスパーソンを対象に、同じく50代ビジネスパーソンであり、メンバーでもある松山真之助氏による「仕事と人生に効く100冊の本」、青木高夫氏による「白洲次郎とJeep Way Letter」を実施いたしました。同じ世代が集まることで、時間に限りある議論も互いに深い話まで理解でき、高い満足度がありました。2013年も同様のオープンイベントを継続して開催し、より多くの方に会員制ライブラリーの魅力を体感していただく予定です。



フォーラム

“MICE Destination Roppongi Hills” ～インバウンドMICE誘致の取り組みも開始～

アカデミーヒルズでは、地上49階にある天空のフォーラム(会議室)施設として企業や外部団体に年間890件、国際会議は8件(2012/1～2012/11)ご利用いただきました。また、2012年は海外からの「インバウンドMICE」の誘致の取り組みも始め、グランドハイアット東京、六本木ヒルズクラブなどと協力し、“MICE Destination Roppongi Hills”というテーマでアジア各国の訪日旅行関係者を招待しました。日本政府は、観光庁を中心に訪日外国人旅行者数を2016年までに年間1,800万人、2020年までに2,500万人、将来は3,000万人とする目標を掲げており、ここ六本木ヒルズも日本の代表的な観光資源のひとつとして国内外へ積極的にPRをしていきます。



TED@Tokyo Worldwide Talent Search

【2012年主なMICE案件】 末尾に(※)のあるものはインバウンド案件

- 5/28(月) TED@Tokyo Worldwide Talent Search
- 7/5(木) ULI Japan Summer Conference 2012 (※)
- 10/9(火) 国際交流基金賞 授賞式(皇太子殿下ご列席)
- 10/13(土) World Economic Forum Japan Global Advisory Meeting (※)
- 10/15(月) JICA, AFD, Brookings Joint Workshop Donor Support to the Arab Transition (※)
- 10/20(土)～28(日) 東京国際映画祭(オープニング～受賞者記者会見、関連セミナーほか)
- 11/9(金) WIRED CONFERENCE 2012
- 11/12(月) 高円宮憲仁親王殿下十年式年祭記念展「高円宮殿下を偲ぶ」

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 深町

TEL :03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail : fukamachi@mori.co.jp

スペシャルコラム

日本を元気にする人たち

米倉誠一郎（日本元気塾塾長）

11もの政党が乱立する2012年末の衆議員選挙。理念・理想、主義主張、さらには政策さえもめちゃくちゃバラバラな人たちが「カリスマリーダーの下で寄り合えば何とかなる」といって競い合う烏合野合選挙にしか見えない。多分こんなすったもんだが後10年くらいは続くのだろうと、絶望的になって日本を見渡すと、いやいや日本を元気にしている人たちはまだ沢山いることに気づく。

世界の良い国ランキング1位の日本

まず、イギリスのBBCがずっと行ってきた「世界への影響力国別ランキング(BBC Country Rating Pole)」では、日本は常に「良い影響を与えた国」のベスト5の常連であり、2012年度は何と世界一位と評価されているのである。ただし、世界の人たちは毎年変わる首相やカリスマ的首長を評価しているわけではなく、あの巨大地震と津波からの復興を目指して整然と努力を続ける粘り強い東北地方の人たちや、福島原発の事後処理に自らの命を顧みずに当たっている勇氣ある電力関係者たちへ賞賛を送っているのである。

同じく、世界はいたずらに他国との争いを騒ぎ立て虚勢を張る偽愛国者たちを賞賛しているわけではなく、戦後60年平和を愛し、高品質で高技術に基づいた信頼性のある商品を提供してきた日本の産業人や、奇想天外で面白いアニメやゲームを創り出してきたクリエイターたちを賛美しているのである。日本は一部の優れたリーダーやカリスマが造り上げた国ではなく、多くの名もない無数の人たちの努力の上に築き上げられた国という評価なのだ。そう考えると、カリスマなんかには頼らないで、しっかりと自分たちの守備範囲でいい仕事をするのが一番だと自信が湧いてくる。



日本元気塾という試み

「個人一人ひとりに元気がないのに、社会や国が元気になるわけがない」と、僕たちはいまから4年前に高島郁夫、藤巻幸大、奥山清行というとてもないロマンチスト3人の同志と日本元気塾を立ち上げ、現在3期目を開講中である。そして、この小さな私塾から早くも日本を元気にするプロジェクトが次々と世に出はじめている。

バングラデシュで「グラミン＝雪国まいたけ」という農業ソーシャルビジネスを実現した佐竹右行君（1期生）や、蛭間防災塾やホームレスサッカーチーム「野武士ジャパン」監督としての活動を認められ、日本ユースリーダー賞を獲得した蛭間芳樹君（1期生）。「子供たちに本物の感動を」を合い言葉に六本木ヒルズでの「子供のためのジャズコンサート」を企画し、NPO法人「キッズファン」を立ち上げた蛭間君、持田幸枝君、張京和君、荻田美奈子君（1期生）、ビデオ好きが昂じてビデオ制作会社を創業した宇都宮秀男君（2期生）。『アルバイトだけでもまわるチームをつくろう』というベストセラーを書いた鈴木亮君（2期生・3期生）、ファシリティマネジメント（FM）を通じて日本を元気にしようというFM研究会を継続する塩田基君（2期生）。日本元気塾生の活躍には、枚挙の遑がない。

カリスマリーダーなどという無いものねだりをせず「一人ひとり小さな力でも、その総和がとてつもなく大きなパワーを発揮する」という創発を信じてヒルズには熱い人間が集っている。

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 深町

TEL :03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306

E-mail : fukamachi@mori.co.jp

アカデミーヒルズ今後のオススメトピックス

六本木アートカレッジ「会田誠展」関連セミナー開催決定！

「美術の時間では教わらなかったアート入門」

第1回：2月4日(月)19時～20時30分(90分)(鈴木芳雄氏)

「ビジネスパーソンがおさえておくべき日本美術」

第2回：2月19日(火)(岩渕貞哉氏)

「現代アート最前線で知っておきたい10のこと」

第3回：3月18日(月)(津田大介氏他)

「サブカルチャーとアートの怪しい関係(仮)」

※1月詳細決定次第、お知らせさせていただきます。



津田大介氏×会田誠氏対談の様子
2011年六本木アートカレッジ

今後の予定 ※詳細が決まり次第、WEBに掲載いたしますのでご確認ください。

講座タイトル	日時	講師
東洋経済インタラクティブセミナー(仮)	1月16日(水) 19:00～21:00	鳩山 玲人 [(株)サンリオ 取締役] 佐々木 紀彦 [(株)東洋経済新報社「東洋経済オンライン」編集長]
サイエンスシリーズ 素粒子物理学の最前線 ～「ヒッグス粒子」発見はなにを意味するのか?～	1月17日(木) 19:00～20:30	駒宮 幸男 [東京大学 大学院理学系研究科・理学部 教授]
VISIONARY INSTITUTE-2012 Seminar 第5回 日本の未来の言葉	1月31日(木) 19:30～21:00	アーサー・ピナード [随筆家]
チーム発想術～チームで極上のアイデアを出す～(仮)	2月3日(日) 13:00～17:30	加藤 彰 [NPO法人日本ファシリテーション協会フェロー]
ワークシフト～リンダ・グラットン教授来日記念セミナー～(仮)	2月6日(水) 19:00～21:00	リンダ・グラットン [ロンドン・ビジネススクール教授]
六本木アートカレッジ[エイト・リンク・ラボ/AIT LINK LABO] 「アートだからできる、記憶の質感」	2月7日(木) 19:00～20:30	ロジャー・マクドナルド [特定非営利活動法人アーツ・イン・アジア・イニシアティブ・ウキョウ] 小澤 慶介 [特定非営利活動法人アーツ・イン・アジア・イニシアティブ・ウキョウ]
日本元気塾セミナー 未来をつくるイノベーションシリーズ 「医療界の革命児たれーワンコイン検診の挑戦」(仮)	2月21日(木) 19:00～21:00	川添 高志 [ケアプロ(株)代表取締役社長] 米倉 誠一郎 [日本元気塾塾長/一橋大学イノベーション研究センター教授]

日本元気塾卒業生 蛭間芳樹さん(日本政策投資銀行 環境・CSR部 BCM格付主幹)が 日本ユースリーダー協会第4回若者力大賞「ユースリーダー賞」受賞!

2009年に開催の日本元気塾 米倉塾第一期生として、米倉先生の下で1年間学ばれた蛭間さんは、卒業後も会社勤めの傍ら、現代社会が抱える防災・危機管理の問題やホームレス問題、教育問題などの活動に幅広く取り組まれたことを評価され、日本ユースリーダー協会から第4回若者力大賞「ユースリーダー賞」を受賞されることになりました。元気塾のカリキュラム「ビッグイシュー」販売体験をきっかけにスタートしたホームレスを集めたサッカーチーム「野武士ジャパン」の監督活動はよく知られているほか、米倉先生を理事長に迎えて設立した「NPO法人キッズファン」では六本木ヒルズで子供に本物を体験させる教育プログラム「子供のためのジャズコンサート」などを開催されています。



【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 深町

TEL :03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail : fukamachi@mori.co.jp